

2012.2

Network newsletter No.17



- 「東日本大震災から 支えあう社会へ
～次世代へバトンを渡す大人の責任～」開催 …… p2
- 「市民グループの豊かなスキルで
協働事業をプランニングしてみよう！」開催 …… p3
- 家庭菜園「明るい農縁」だより その3 …… p4
- 会員紹介 株式会社竹藤商店 …… p4
- お知らせ掲示板 市民四季の森「バラ・アジサイまつり」参加団体募集! …… p5
- ネットワークHOTニュース …… p6

平成23年度次世代育成講演会

「東日本大震災から

支えあう社会へ

～次世代へバトンを渡す大人の責任～」開催

2月5日（日）公民館4階視聴覚室で「東日本大震災から 支えあう社会へ～次世代へバトンを渡す大人の責任～」と題した講演会を開催しました。講師は、大阪大学大学院准教授の稲場圭信氏。平成22年度に続き、次世代育成講演会2回目のご講演となりました。



市内で活動するボランティア団体の代表者ら48名が参加しました。

被災地でボランティア活動をされた稲場氏は、この震災により多く見られた「役にたちたい」「ほっとけない」という、他人を思いやる「利他」の心に焦点をあて講演。私たち大人が次世代に伝えていかなければならないのは、こうした「思いやりの心」「お役立ちの心」であり、それらは小さな頃からのボランティア活動で育まれることが多いことから、そうした環境を作っていくことが、大人の責任だと提言しました。

わたしたちの活動発表を見に来てね！

平成23年度 次世代育成事業

次世代育成モデル事業成果発表会



日時 平成24年3月4日(日)

午前10時～正午

場所 ぷらっとみなみ 講堂
(小牧市南部コミュニティセンター)

定員 80名

内容 モデル事業実施団体による取り組みの成果発表・活動状況の写真展示
太鼓・踊りの披露

報告団体 ■ 下小針フレンズ×下小針子ども会
■ 和祝太鼓
■ 舞踊セラピー晴留屋プロジェクト

地域で、環境美化や文化活動を通して子どもの心育てに取り組む市民グループが、6ヶ月あまりにわたり実践した「次世代育成モデル事業」について、その成果を発表します。

子どもたちは体験を通して何を学んだのでしょうか。そしてボランティアグループは何を見つけたのでしょうか。

「子どもたちに『思いやりの心』『お役立ちの心』を伝えたい！」そうお考えのみなさま、ぜひご参加ください。

協働啓発事業

「市民グループの豊かなスキルで

協働事業をプランニングしてみよう！」開催

小牧市では、これまで単独で行ってきた市民サービスや市民団体が独自で行ってきた事業を、互いに協働することにより、さらによりよい市民サービスを目指そうと「協働提案事業化制度」をスタートしました。

この講座では、市民団体のみなさんに、協働の考え方や事業の組み立て方などの、協働に必要な知識を身につけてもらうことを目的に、1月19日から3回にわたり連続講座を開きました。



参加の6団体は、各回グループワークを通して事業をまとめる作業に取り組みました。

第1回の講義「協働ってなあに？」では、協働の基礎知識を学び、第2・3回では、講師に三島知斗世氏（NPO 法人ボランティア・ネィブズ 理事）を迎え「協働提案事業化制度」の選考基準についての理解を深めました。実際にプランニングした事業については、三島氏と市の協働推進担当職員からきめこまやかなアドバイスがあり、プランの見直しの参考にしました。

本講座でプランニングした協働事業アイデアは、3月15日の市民まちづくりセミナー「夢まちづくり協働事業アイデア発表会」で発表されます。



グループワークでまとめた結果を、みなさんの前で発表。グループの得意分野が生かされた協働プランに、他の団体も熱心に耳を傾けました。

平成23年度市民まちづくりセミナー

夢まちづくり

協働事業アイデア発表会

平成24年3月15日(木)

18時～20時30分

市役所南庁舎5階大会議室

- 講師 三島知斗世氏（NPOボランティア・ネィブズ 理事）
- 定員 200名（先着順）
- 入場 無料
- 発表団体
NPO法人こまきe-コミュニティーネットワーク
小牧防災リーダー会
舞踊セラピー晴留屋プロジェクト
サニースポット
明るい農縁

「協働相談窓口」を ご利用ください

市民活動センターでは、協働に関する質問や相談に専門員がお答えする「協働相談窓口」を3月2日（金）より設置しています。どうぞ、お気軽にご相談ください。



専門員の近藤静枝さん

- 時間 毎週火・金 10時～15時
※事前に電話での予約をおすすめします。
- 問合せ先 市民活動センター ☎74-4011

家庭菜園

農縁では、玉葱、えんどうなどの春野菜がすくすくと育っています！



「明るい農縁」だより その3

2月18日(土)午後7時から市公民館4階視聴覚室で、新たに追加募集した「明るい農縁」20区画の説明会を行いました。

稲垣正憲委員長からの活動報告に続き、昨年参加の西尾良一さんが体験談を発表。農縁仲間や農縁アドバイザーとの繋がりの中で、野菜作りの腕が上がったと1年の成果を話されました。また同アドバイザーの橋本保さんからは、種や苗の植え時など、野菜作りに役立つ情報が提供されました。

説明会は始終和やかな雰囲気に入れ、4月の開墾が待ち遠しい様子でした。



区画の場所は、くじで引き当てた番号で決定。応募した全員に耕作地が割り当てられ20区画全てが埋まりました。

株式会社 竹藤商店



皆さんこんにちは。小牧原で造園材料を販売する会社をやっています。大正元年に創業しましたので今年で100年を迎えることが出来ました。これもひとえに、お世話になった地域の皆さまのお蔭様と深く感謝申し上げます。

創業当時は竹材卸売問屋として尾張周辺の竹材を伐採し、名古屋地域へ卸す仕事を中心でした。当時は、生活や建築を支える貴重な材料としてもはやされましたが、日本の経済成長とともに新しい素材にとってかわられ、その取扱いは減少の一途を辿っています。今では、造園用石材の取扱いが主になってしまいましたが、小牧はもちろんのこと、一宮の七夕まつりには以前から竹を納入させていただいており、2年前からは、NPO法人尾張すずなり会さんが小牧の竹林を整備した竹を、当社が小牧の七夕まつりに納入させていただくようになりました。

当社では、「引き継がれる伝統文化 時代を超える創造性 私たちは、すべての造園家のこだわり、弛まぬ努力と信頼でおこたえし、人と自然が響和する豊かな社会の実現を目指します」を理念とし、地域社会にお役に立てる存在でありつづけることを目標に社業に励んでおります。現在、10,000平米を超える敷地に、世界13カ国から様々な造園材料が入荷し、近郊の造園屋さんだけでなく関西関東方面にも出荷する毎日です。

みんなの幸せにいかに関与していくかは、仕事でも市民活動でもまったく同じですね。私個人としてはネットワークに関わらせていただいておりますが、会社としてのお手伝いはまだまだ課題です。他の会員企業さんを見習いつつ、社会貢献が社員全ての生きる喜びや明日への意欲につながるよう、日々精進して参りたいと思います。

代表取締役 秦野利基

市民四季の森「バラ・アジサイまつり」参加団体を募集します!

「バラ・アジサイまつり」のオープニングイベントを盛り上げてくださる市民活動団体を募集します。

- 開催日時 平成24年6月2日(土)・3日(日) 10時~16時 ※雨天決行
- 会場 市民四季の森メイン会場(くつろぎ広場) ※屋外のテント
- 募集団体数 5~10団体(応募多数の場合は抽選とさせていただきます)
- 応募条件 小さなお子さん連れの親子が楽しく体験できるブースの企画・運営(参加費有料可)
※物販やパネル展示のみはご遠慮下さい。
- 補助金 有り
- 応募締め切り 平成24年3月20日(火)
- 申込・問合せ (特) こまき市民活動ネットワーク
☎74-4011 FAX74-4070



TaKaRa ハーモニストファンド 平成24年度助成事業

- 支援元 公益信託 TaKaRa ハーモニストファンド
- 応募地域 全国
- 応募資格 (1)具体的に着手の段階にある研究・活動。
(2)営利を目的としない研究・活動。
(3)研究・活動主体の資格は問わないが、次の条件を満たすもの。
個人の場合助成金の使途が助成の目的に沿って適確であり、当該事業に係わる施設の利用や助成金の使途等の面で本人あるいは親族など特別な関係のある者に特別の利益を与えない者。
任意の団体の場合助成金の使途が助成の目的に沿って適確であり、代表者または管理者の定めのある団体で、役員その他機関の構成、選任方法、その他事業の運営に重要な事項が、特定の者、あるいは特別の関係者等の意志に従わずに、運営されている団体。また、特定の者等に特別の利益を与えていない団体。
※より多くの研究・活動に幅広く助成するため、過去に TaKaRa ハーモニストファンドの助成を受けていない応募者(個人・団体)を優先する。
- 支援対象 自然環境を守り、育てる活動または研究を実践する個人および団体
- 支援金額 平成24年度の助成金総額は500万円前後、助成件数は10件程度
- 申込受付期間 平成24年3月末日必着
- 備考 詳しくは下記リンク先をご覧ください。
<http://www.takarashuzo.co.jp/environment/>
<http://www.takarashuzo.co.jp/environment/fund/fund-yoko.htm>

今年もホタテ販売会盛況に開催！

2月19日(日)、小牧駅前にぎわい広場で、北海道八雲町落部漁協から直送のホタテ販売会を実施しました。このイベントは、小牧市と友好を結ぶ同町のPRと交流を目的に、平成20年度からこまき市民活動ネットワークが続けている事業です。

昨年の東日本大震災による津波で、同町のホタテ養殖も大打撃。一時は販売は断念かと思われましたが、難局を乗り越えて育てられた4.5トンが、漁協の方により小牧に届けられました。



落部漁協のみなさんから会場に向けて、災害義援金等、復興に向けた支援への感謝の言葉が述べられました。



ホタテを買い求める行列が、会場から溢れでるほどの盛況ぶり！販売開始から1時間あまりで完売となりました。

information information

会員向けサービスのご案内

- 貸出
- ・ワンタッチテント大 (1500円/基)
 - ・ワンタッチテント小 (1000円/基)
 - ・プロジェクター (500円/台)
 - ・スクリーン (500円/台)
- 利用
- ・メールボックス (1,000円/年)
 - ・紙折り機 (1円/10枚)
 - ・ラミネート (A3: 200円/枚)
(A4: 100円/枚)

★市民情報ギャラリーをご利用ください★

小牧駅構内の市民情報ギャラリーでは、作品を展示して下さる市民グループを探しています。書道、絵画、写真など趣味の作品展示のほか、グループの活動紹介など自由にご活用いただけます。費用は無料です。詳しくは事務局までお尋ねください。



年度末を迎え何かと忙しい事務局ですが、2月28日から3月9日までインターンシップ生を受け入れ、市民活動センターで職業体験をしてもらっています。若い人の目にNPO支援の現場はどのように映るのでしょうか。短い期間ですが、NPOの魅力が伝えられたらと思います。みなさんも事務局にお立ち寄りの節は、ぜひ声をかけてあげてくださいね。(ひ)

ネットワークニュースレター第17号

◎発行・編集：特定非営利活動法人 こまき市民活動ネットワーク ◎発行日：2012年2月28日

〒485-0041 小牧市小牧二丁目107番地 小牧市公民館4階

TEL:(0568)74-4011 FAX:(0568)74-4070

e-mail:komaki.npo-c@me.ccnw.ne.jp HP:http://www.npo-komaki.net/